

みたけ夢だより



9月号

横浜市立みたけ台小学校

横浜市教育情報ネットワーク【Y・YNET】公開サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mitakedai/>

祝50周年！まちと共に育つ子に

校長 谷口 佐智子

学校が始まり、子ども達の元気な声が教室に戻ってきました。初日には、大きな模造紙や箱を抱えて登校する子ども達の姿があったり、久しぶりに会った友達に手を振っている様子が見られたりしました。子ども達の姿を見るとこちらも自然と笑顔になります。

夏の間、教職員は、様々な研修をしたり、教育環境を整えたりしてきました。各推進事業校として、幼保小の職員で合同研修をしたり、小中ブロック校で人権研修をしたりしました。また、学ぶ力を育む授業の指導案づくりや、生活・総合科の学習をまちに繋げていくための準備をして、子ども達の登校を心待ちにしていました。

今年度、みたけ台小学校が50周年の記念の年になっているため、まちと学校がより繋がることができ、さらに広がりを感じているところです。

過日、教室の音環境を整えたく、「テニスボールを提供してくれるところはないか。」と出会った方々に相談したところ、桐蔭横浜大学（藤教授のお力添え）や、日本体育大学（たちばな台町内会長奥村さんのご尽力）から、テニスボールを譲り受け、その後の職員作業で、該当学年の椅子や机に設置することができました。呟いてみるだけで夢が叶います。

この夏も各連合会や町内会で夏祭りがありました。あいにくの天候でしたが、子ども達には、かえって記憶に残るものになったようで、雨に濡れながらもとても喜んでいました。

日頃から、子ども達の登下校をまちの方々が見守ってくださっています。放課後の公園を見守ってくださっている方々もいます。子ども達は、困ったときに相談しているようです。子ども達を大切にしたい想いで自主的に動いてくださっているのです。

これらが当たり前になっていることが、みたけ台小のまちの素晴らしさだと思っています。そして、まちの方とお話をする、「子ども達はまちの宝物。私たちこそ、子ども達と触れ合えると、元気がもらえているのですよ。」と応えられます。

校長として、「あなたたちの力はすごいのです。子どもだからこそできることがあります。」という話をしています。このまちの子として、自分達もできることを考えていってほしいと思います。子どもだからこそ、まちを元気にする力があると思うのです。

本日、6年生がまちへ出かけています。「みたけガイドブック」の相談です。学校からまちへ発信し、さらに繋がりを構築していきたいです。そして、子ども達がまちへの愛着をさらに深め、たくさんの方々と繋がりをもち、まちと共に成長していくことを願っています。

まだまだ暑さが続くようです。学校では運動会に向けての取組が始まります。子ども達の安心安全を最優先に進めてまいります。

引き続きのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

